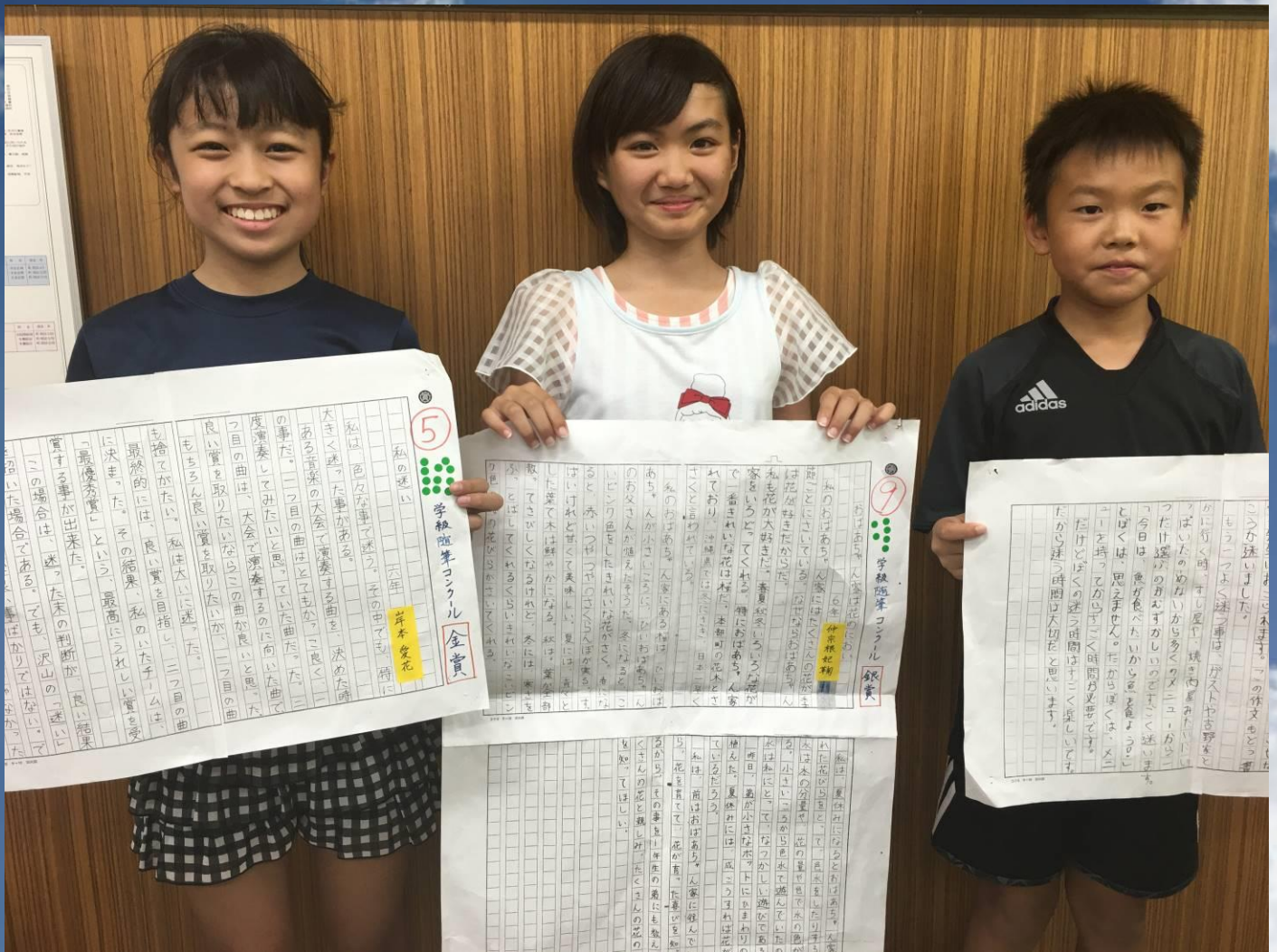


学級随筆コンクール “金賞” 『私の迷い』 岸本愛花



6年1組主催「学級随筆コンクール(指導:儀間千里)」銀賞(仲宗根妃鞠)・銅賞(安西励織)

私の迷い

6年 岸本 愛花

私は、色々な事で迷う。その中でも、特に大きく迷ったことがある。

ある音楽の大会で演奏する曲を、決めた時のことだ。一つ目の曲はとてまかっこ良く、一度演奏してみたいと思っていた曲だ。二つ目の曲は、大会で演奏するのに向いた曲で、良い賞を取りたいならこの曲が良いと思った。

もちろん良い賞を取りたいが、一つ目の曲も捨てがたい。私は大いに迷った。

最終的には、良い賞を目指し、二つ目の曲に決まった。その結果、私のいたチームは、「最優秀賞」という、最高にうれしい賞を受賞することができた。

この場合は、迷った末の判断が、良い結果を招いた場合である。でも、沢山の「迷い」の中には、こんな良いことばかりではない。でも私は、たとえ良い結果ばかりでなかったとしても、迷いながらの人生も大切だと思う。

銀賞
銅賞

仲宗根 妃鞠
安西 励織

「おばあちゃん家は花のにおい」
「ぼくが迷う時」